

令和3年度第2回八戸市生活支援体制整備推進協議会【結果】

1 意見聴取者

八戸市生活支援体制整備推進協議会委員 8名

2 意見聴取内容

議事1 八戸市地域包括ケアシステム推進学生サポーター養成研修報告について

【委員からの意見】

- ・資料から本来の趣旨である「学生サポーター養成」の意義や根拠として八戸市の現状と高齢者福祉施策に多くの時間をかける事で能動的な参加意欲を高められたのではないのでしょうか。
また、別紙2で「補足で、なぜ学生なのか？」のくだりは学生の本質的な動機に直結する根拠づけとして大変わかりやすく、学生さんも合点しやすいのではないかと感じました。
- ・別紙3のグループワークについては、ワークショップ開催のためにとても役立つ内容だと感じました。次の活動へ進んでいけるように展開していくというのは、私自身も会議の際に必要な事項だと痛感しました。
- ・団塊世代の全てが後期高齢者になる令和7年は目の前となっており、その中で学生サポーターが養成されることが本当に嬉しく思えますし、期待も大きいです。

議事2 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催中止報告について

【委員からの意見】

- ・ワークショップから、ごみ捨て支援や居場所づくり交流などが取組として続けられているということなので、これからもワークショップの開催は大切な生活支援の基盤になるのではないかと。
- ・現在の新型コロナウイルス感染拡大の状況から、中止はやむなしと考えます。
- ・今回、開催できなかったのは残念です。次回を楽しみにしています。

議事3 市内25地区の通いの場マップ作成報告について

【委員からの意見】

- ・具体的な内容（開催日時や参加費用）の記載があり、一般の高齢者等の「予備知識のない方」にとっても十分わかりやすい資料になっていると思います。個人的には、「当面は内部資料」とのことでしたが、ぜひ広く周知でき、さらに具体的な問合せ等ができるような仕組みとなり、多くの方が利用できるようなになるともっと良いと思います。

- ・通いの場マップがあれば、自分の住んでいる地域にどのような活動があるか、自分に合ったものがあるか把握できるのでとても良いことだと思います。
- ・たくさんの会があり、びっくりしました。同時に、どれだけの方に周知されているかと思いました。その場に参加できるよう訪問、声かけが必要と思われまます。
- ・湊地区を見て感じたのですが、前回と比べてどう変わっているのか見るためには、同じ施設を同じ番号で更新した方がより理解しやすいのではないかと思います。休止中の施設名も今回のように記載しておけば再開する上で役立つだろうし、今回新しく加わった施設にも番号を黒塗りするとか一目で分かるようにしたら使いやすいのではないかと。
- ・現在、新型コロナウイルス禍で使用が中止となっていることが多いのが現状です。この間、フレイルの進行により全体的な心身状況の低下が心配されます。

議事 4 生活支援コーディネーターの変更について

【結果】

- ・承認する 8名
- ・承認しない 0名

【委員からの意見】

- ・特になし

その他

【委員からの意見】

- ・なかなか、会議をできない状況下にて、職員の皆さんも多忙と存じます。来年度は、新型コロナが落ち着き、円滑な運営ができることを心よりお祈りいたします。